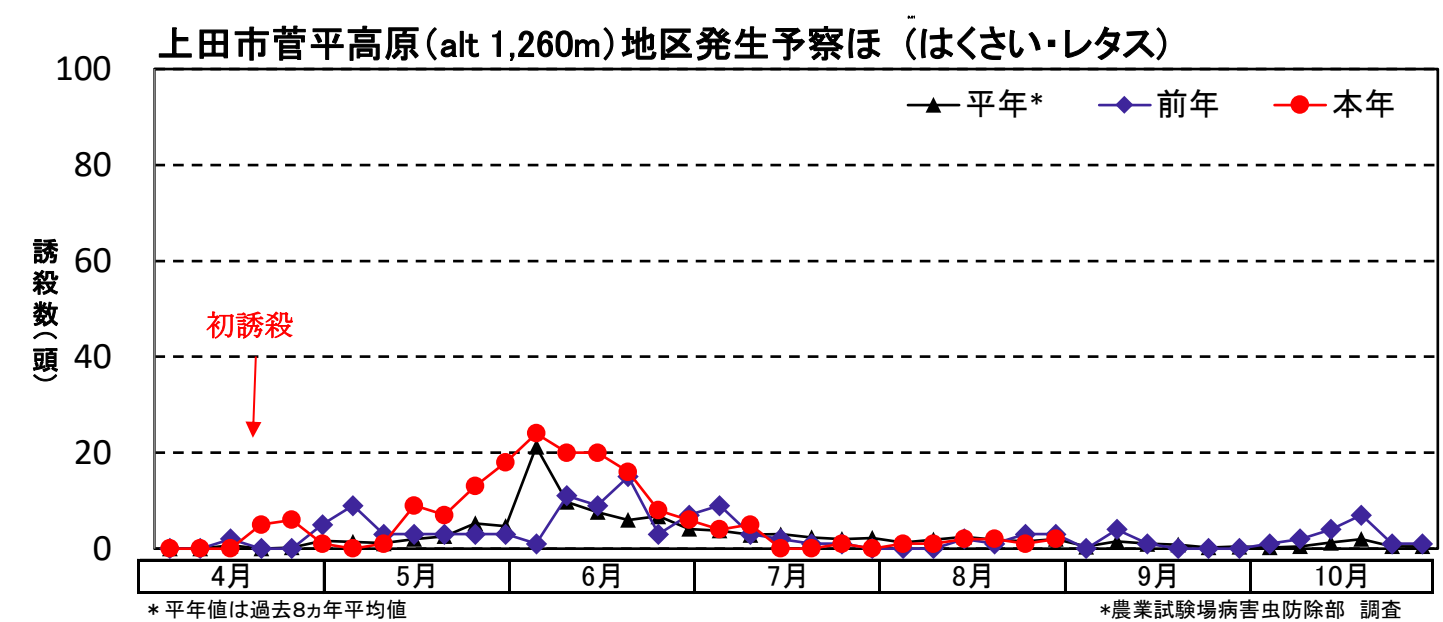
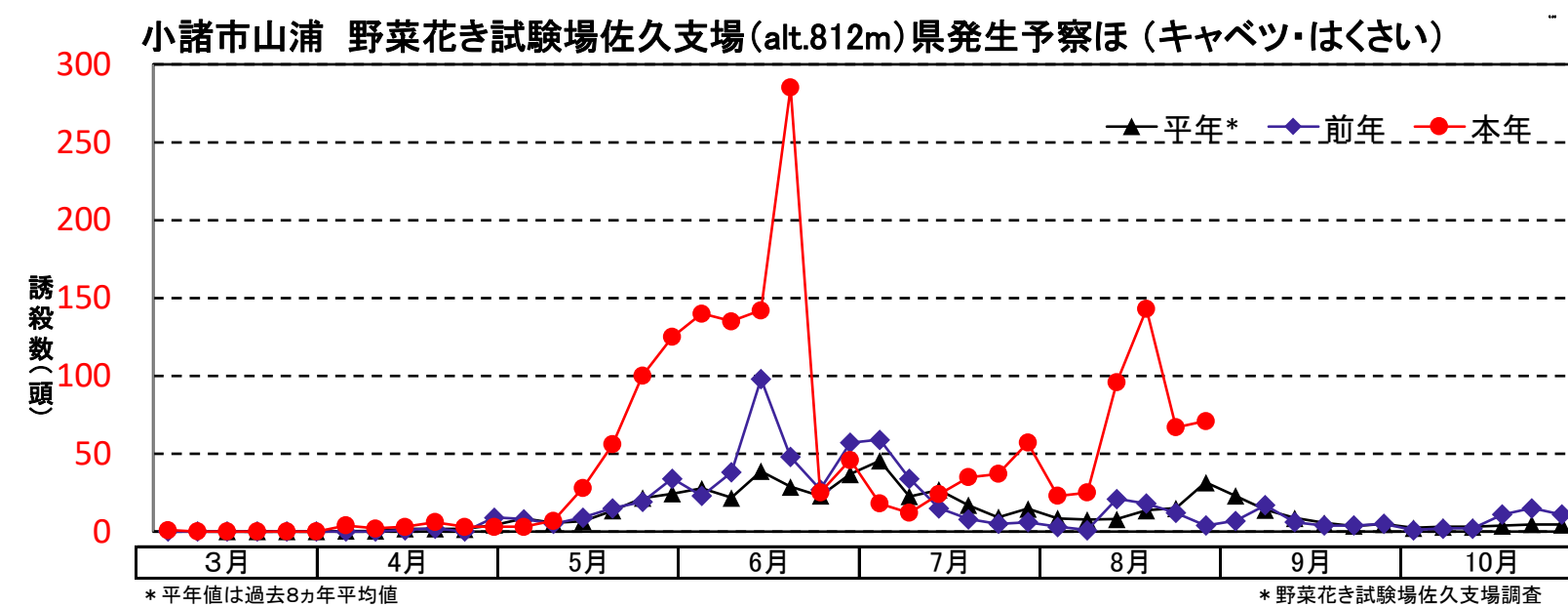
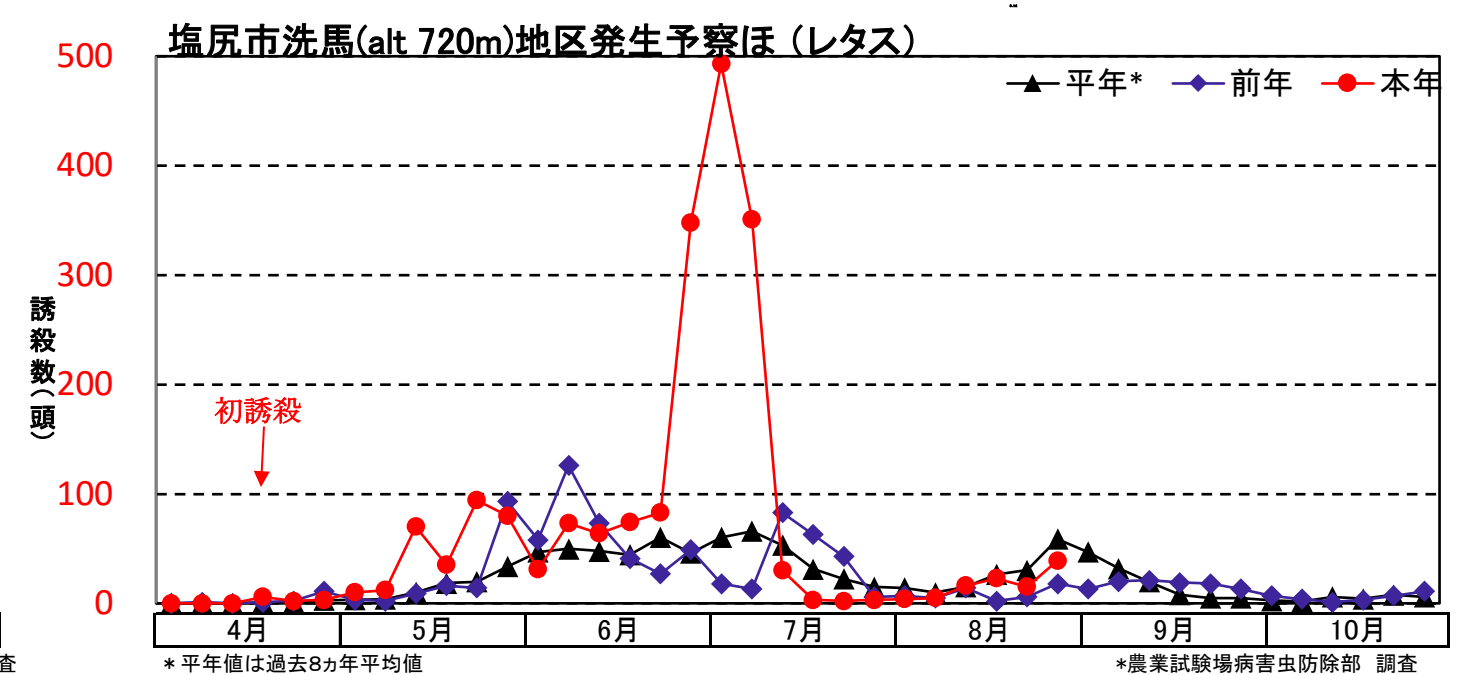
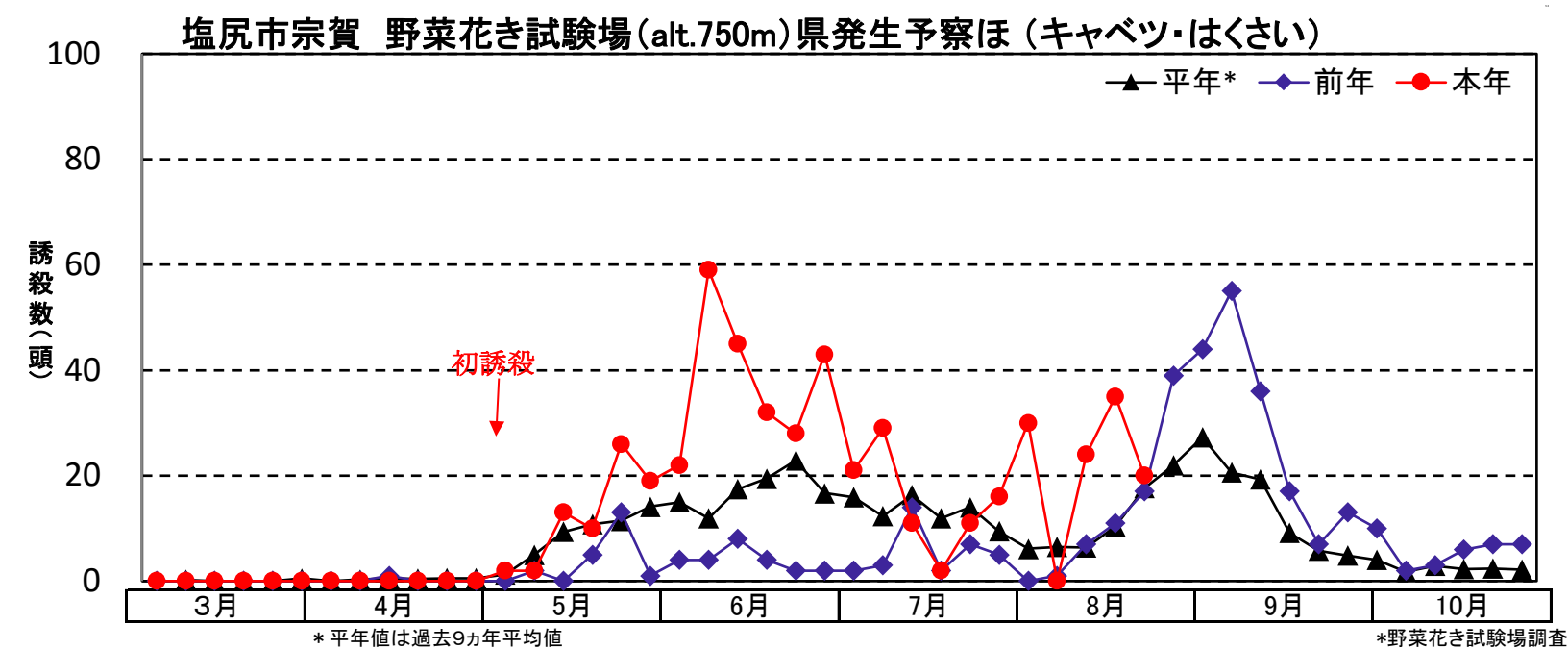


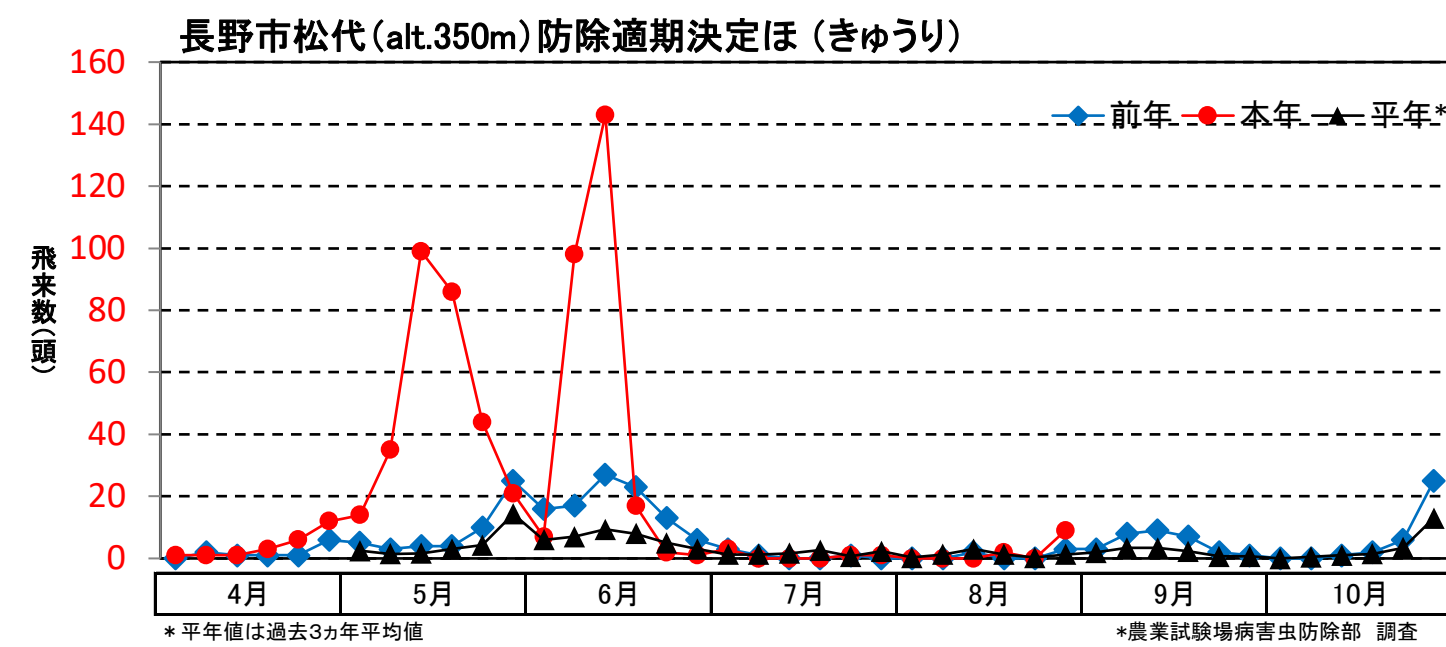
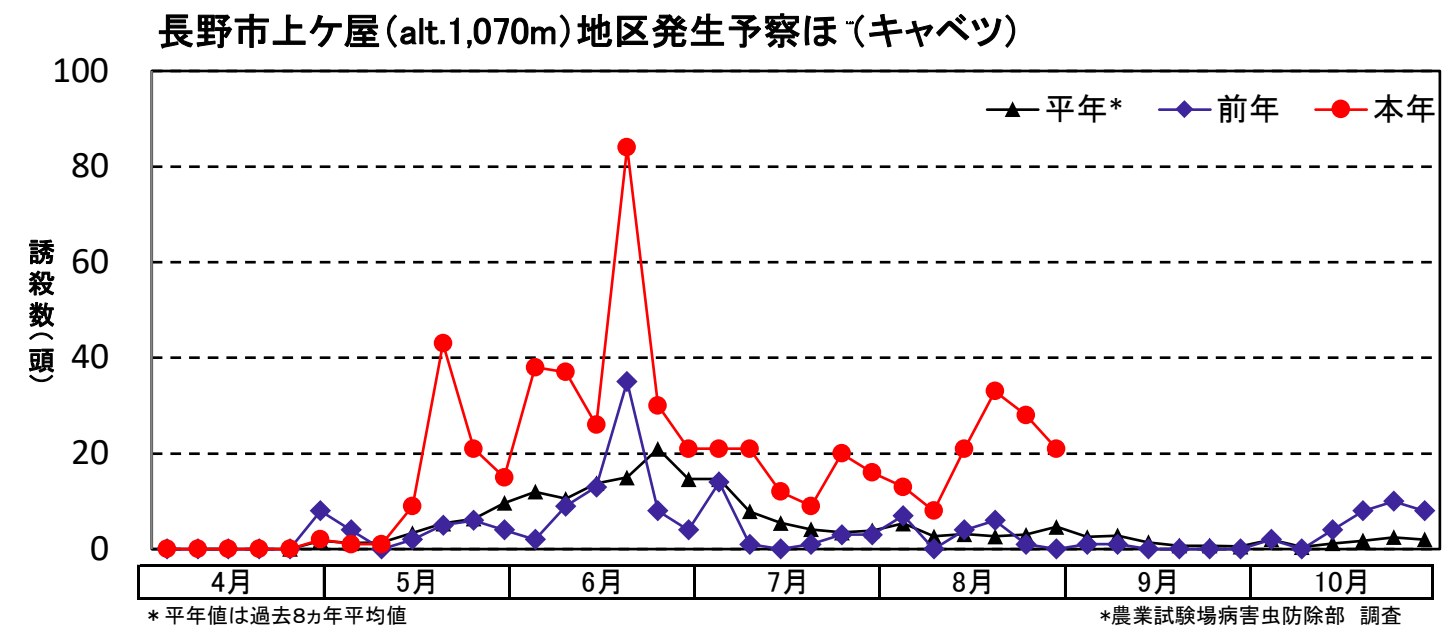
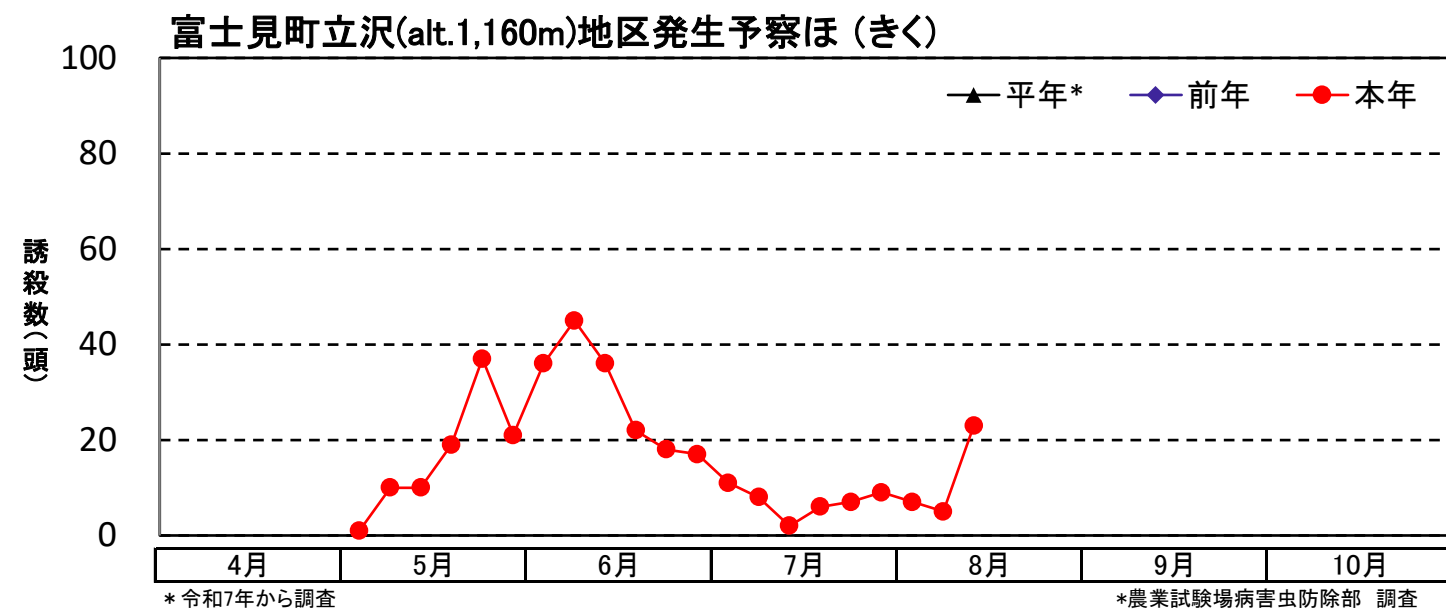
令和7年 アブラムシ類有翅虫飛来消長

農業試験場、野菜花き試験場で実施した黄色粘着トラップによる誘殺消長調査の結果です

【コメント】

- ・塩尻市宗賀では、5月中旬から誘殺頭数が増加し、6月は平年の約2倍と多く、7月第4半旬、8月第2半旬以外は全般に平年と比べ多かった。
- ・塩尻市洗馬では、5月～7月上旬の誘殺頭数は平年と比べ多く、特に6月第6半旬～7月第2半旬の誘殺頭数は平年値の約7倍であった。その後は減少しほぼ平年並に推移している。
- ・小諸市では、5月第3半旬～6月第4半旬の総誘殺頭数は平年値の5.5倍と、多かった。7月上旬は減少したが、中旬以降は平年と比べ多かった。
- ・上田市では、5月第3半旬から増加し、5月下旬～6月中旬は平年と比べ多かったが、6月下旬以降は平年並に経過している。
- ・富士見町では、5月下旬～6月上旬に発生がみられ、その後減少したが、8月第3半旬現在、再び増加傾向にある。
- ・長野市上ヶ屋では、誘殺頭数が多く、8月6半旬まで平年と比べ誘殺頭数が多い状況が続いている。
- ・長野市松代では、5月～6月の総誘殺頭数は過去3年間の平均値の約8.6倍と、かなり多かった。6月下旬以降は平年並の誘殺頭数であった。





;